

修斉地区 防災カルテ



令和5年度作成(2024年3月)
修斉地区市民協議会

目 次

I 修斉地区の概要

1 地区概況	2
2 地域の防災資源	3
3 まちのようす(人口、世帯数等)	4
4 修斉地区の各組織	5
5 被害予想	7
6 施設・地域資源	10
7 地区内指定避難所	11
8 緊急交通路	11

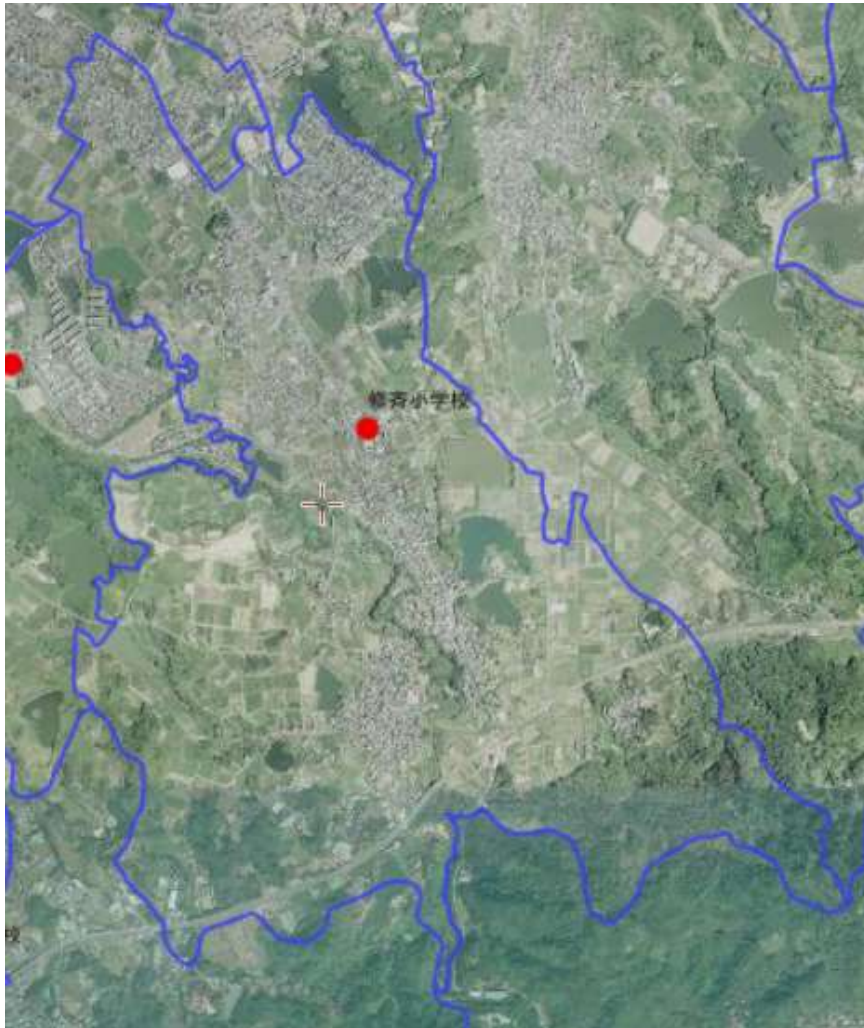
II 修斉地区の取り組み

1 めざすべき校区の姿	12
2 課題	12
3 2023～2025年度の取り組み	12
4 具体的な取り組み	16

III 各町会の様子と取り組み 20

I 修斉地区の概要

Ⅰ 地区概況



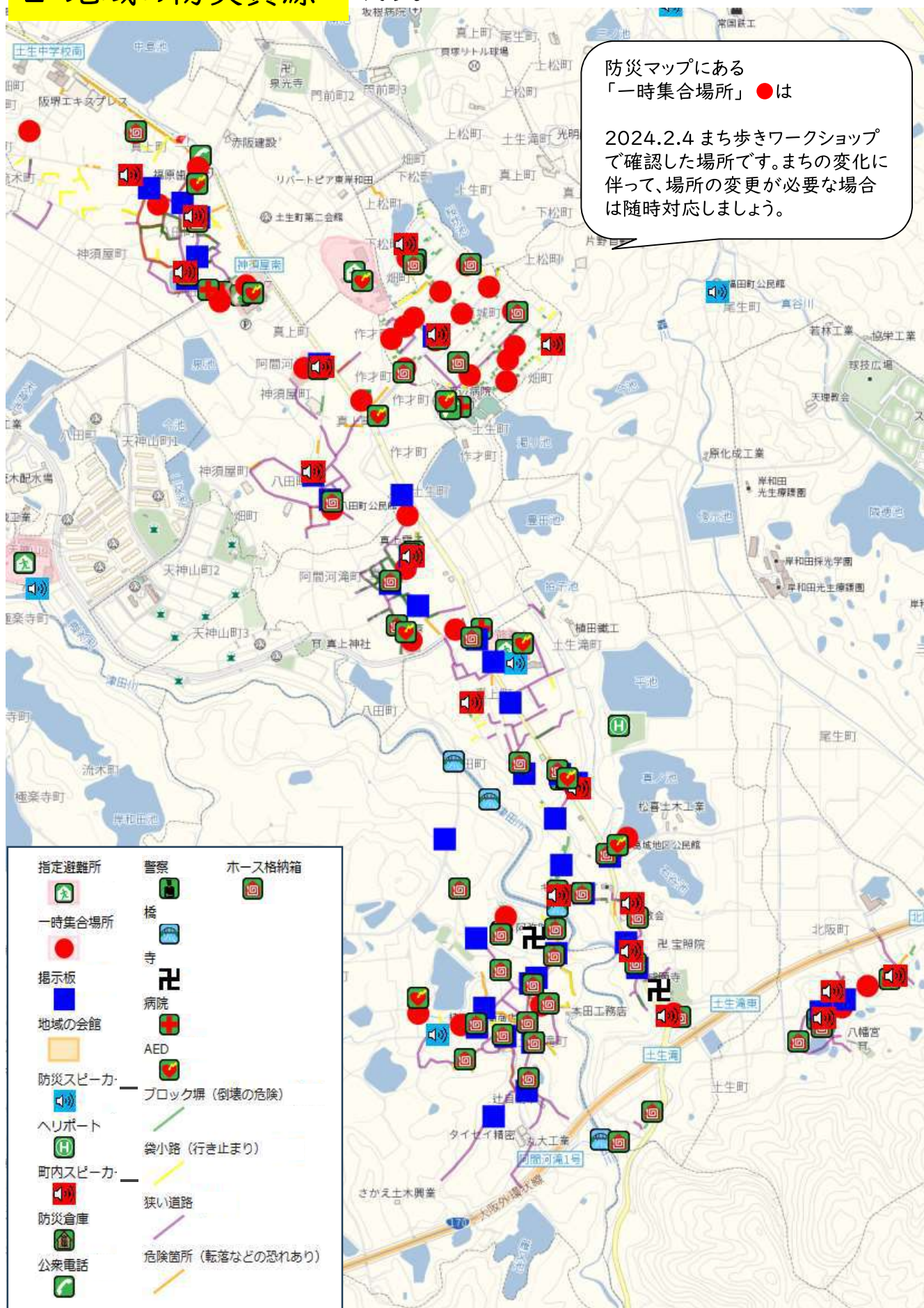
岸和田市の中央部に位置し、神於山と葛城山が望め、豊かな田園風景が広がる地域です。北阪八幡宮からは大阪湾から六甲の山並み、明石海峡大橋、淡路島の雄大な景色が望めます。

修斉地区は、大部分が市街化調整区域と農業振興地域に指定されており、農業が主産業の地域です。東西に大阪外環状線（国道170号）、南北に府道岸和田港塔原線が通っています。府道泉州山手線（実施計画）、土生郷修斉線（計画のみ）など大きな道路整備計画があり、インフラ整備に伴ってまちの様子の変化が見込まれます。

南北に二級河川の津田川が流れています。
古くから暮らしている町会は祭りを軸に顔の見える繋がりがあります。新興住宅も増えつつあり飛び地の課題が発生しています。また、コミュニティの複雑化が課題のひとつになっています。

2 地域の防災資源

防災マップ



3 まちのようす(人口、世帯数等)

【世帯数】 2,322世帯
【人口】 5,475人

令和4年10月末現在

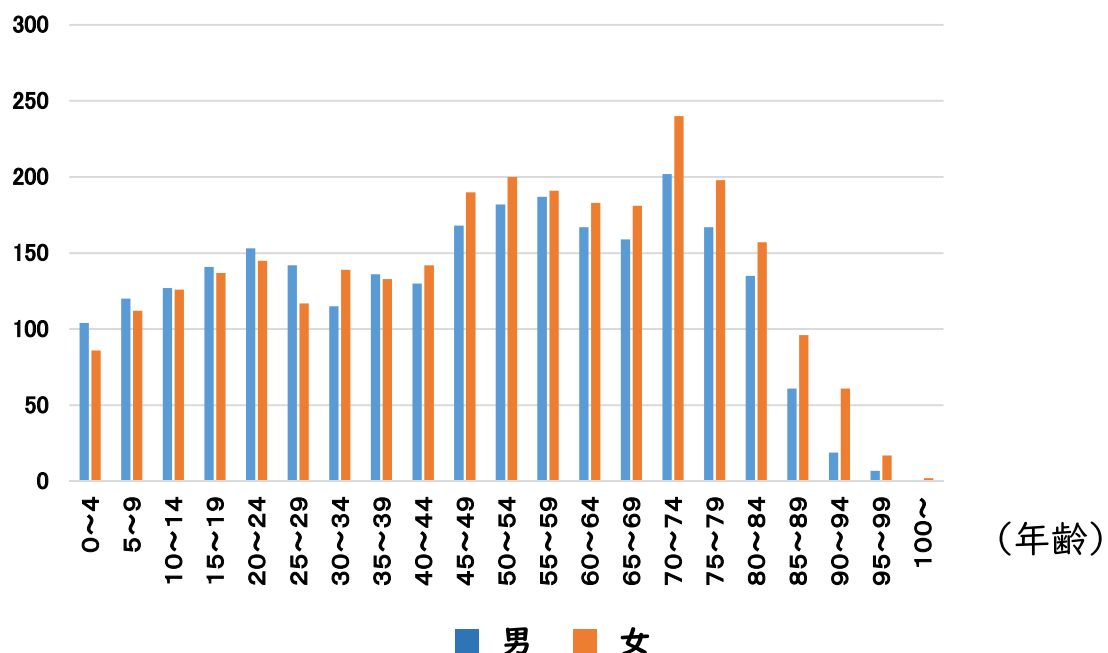
修斉地区は飛び地が多く、隣地の旭・太田地区や天神山地区に多くの修斉地区の地番が存在するため、修斉地区内の人口・世帯数と住民基本台帳上の人口・世帯数は大きく差異があります。

しかしながら、修斉地区内の人口・世帯数を表す公式データがないため、修斉地区の人口・世帯数は、住民基本台帳によるものとします。

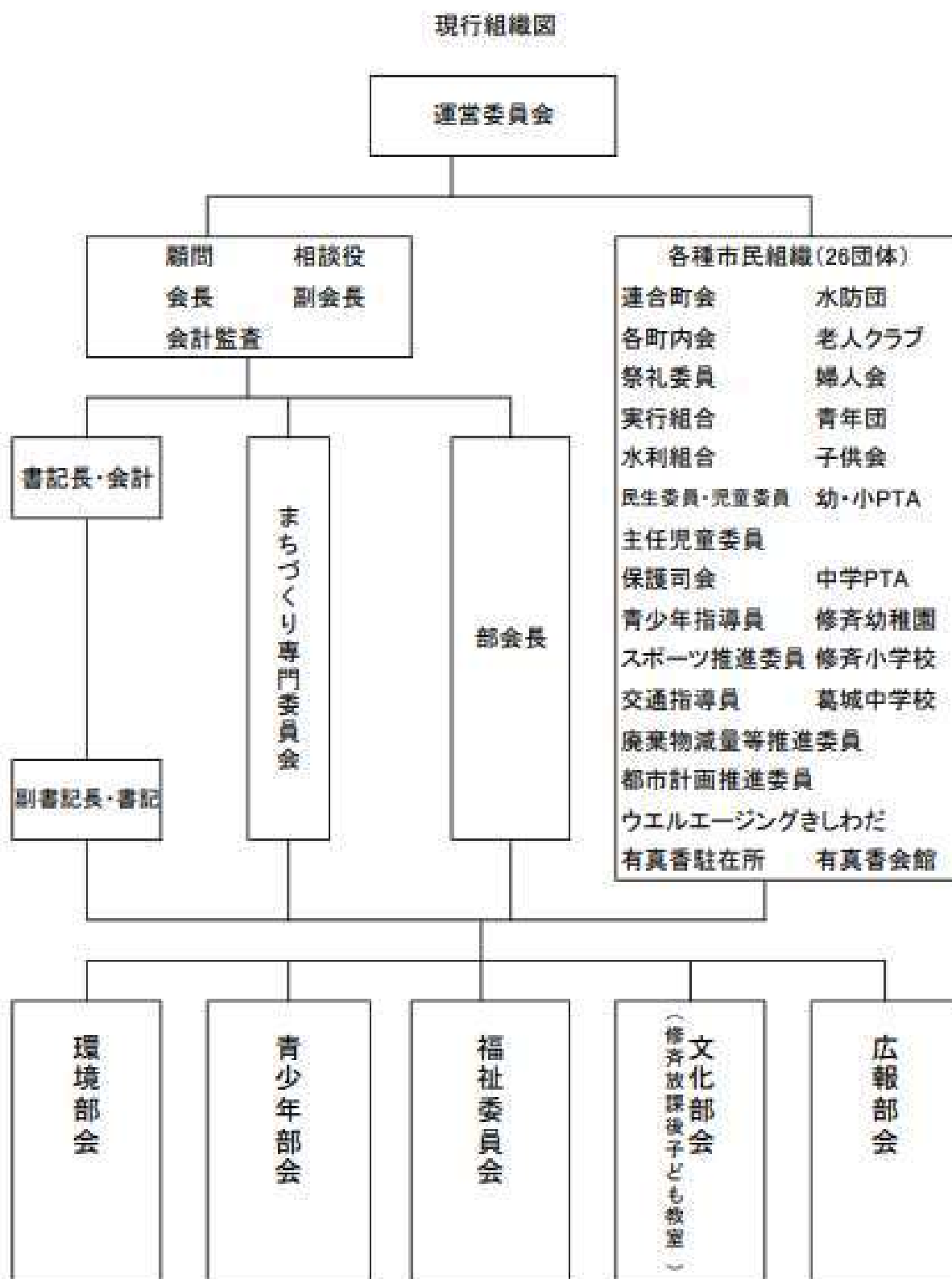
	男	女
0-4	104	86
5-9	120	112
10-14	127	126
15-19	141	137
20-24	153	145
25-29	142	117
30-34	115	139
35-39	136	133
40-44	130	142
45-49	168	190
50-54	182	200
55-59	187	191
60-64	167	183
65-69	159	181
70-74	202	240
75-79	167	198
80-84	135	157
85-89	61	96
90-94	19	61
95-99	7	17
100以上	0	2

修斉地区人口分布

(人)

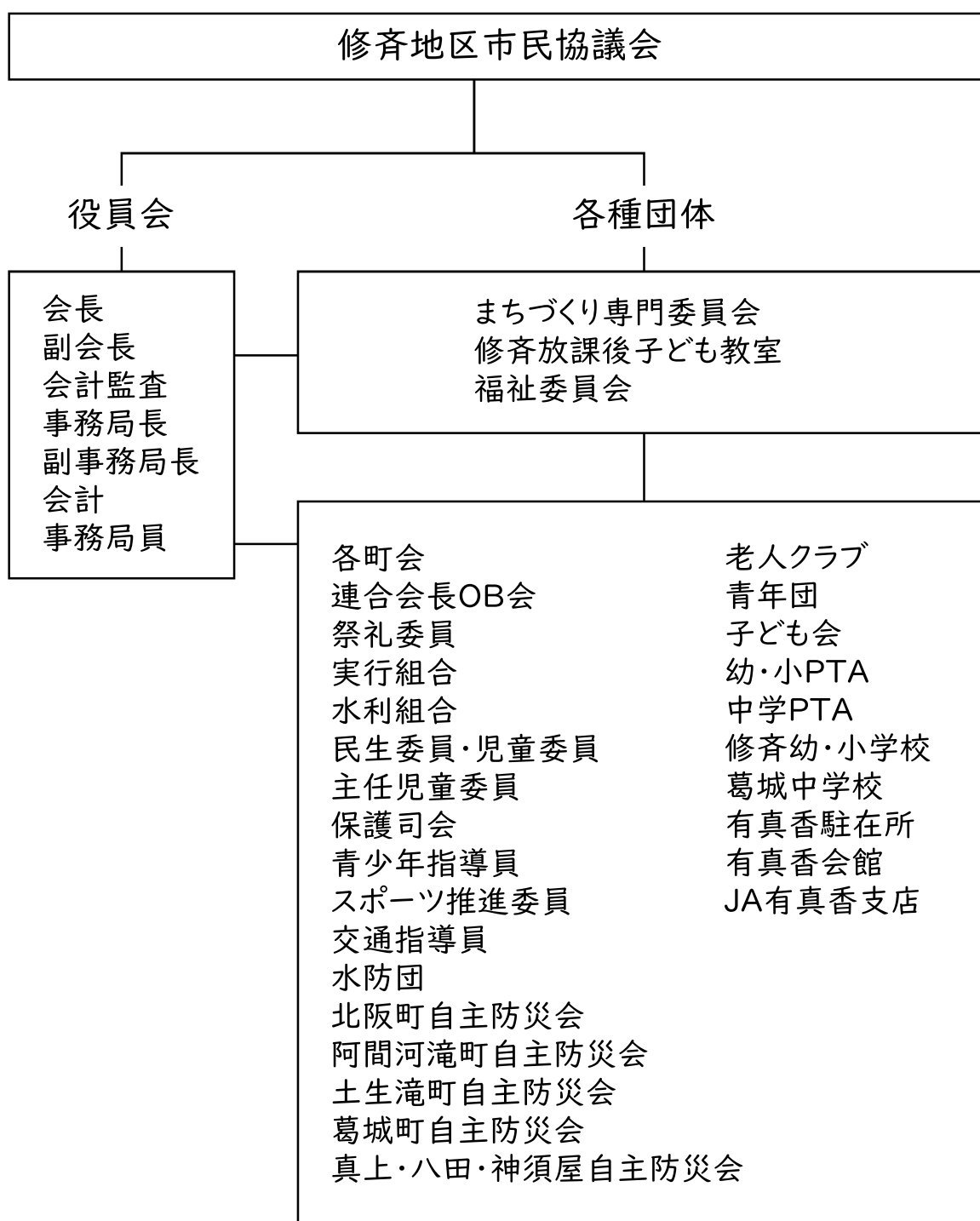


4 修斉地区の各組織



【新体制】 令和7年度以降に新体制を検討しています。

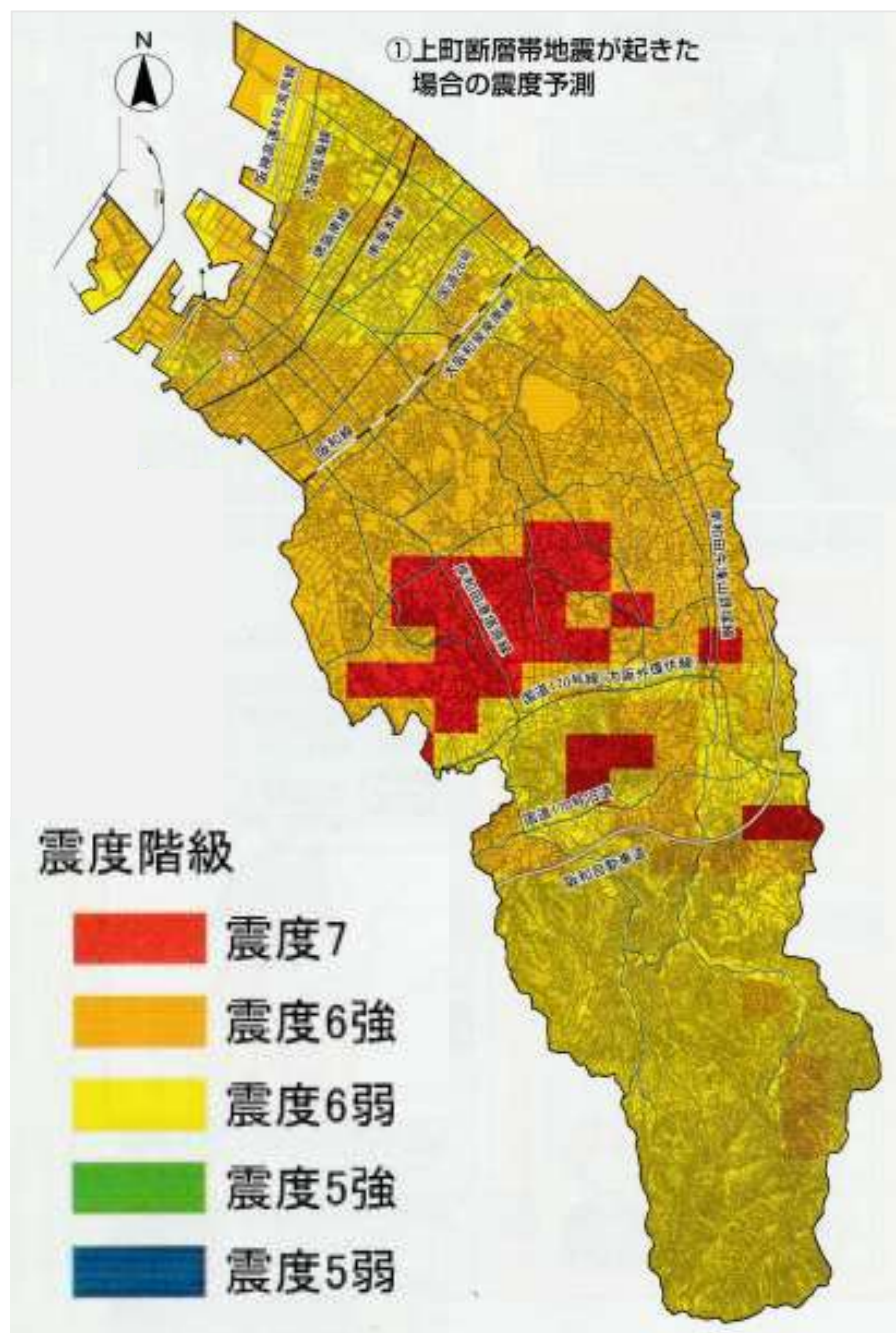
新組織図



5 被害予想

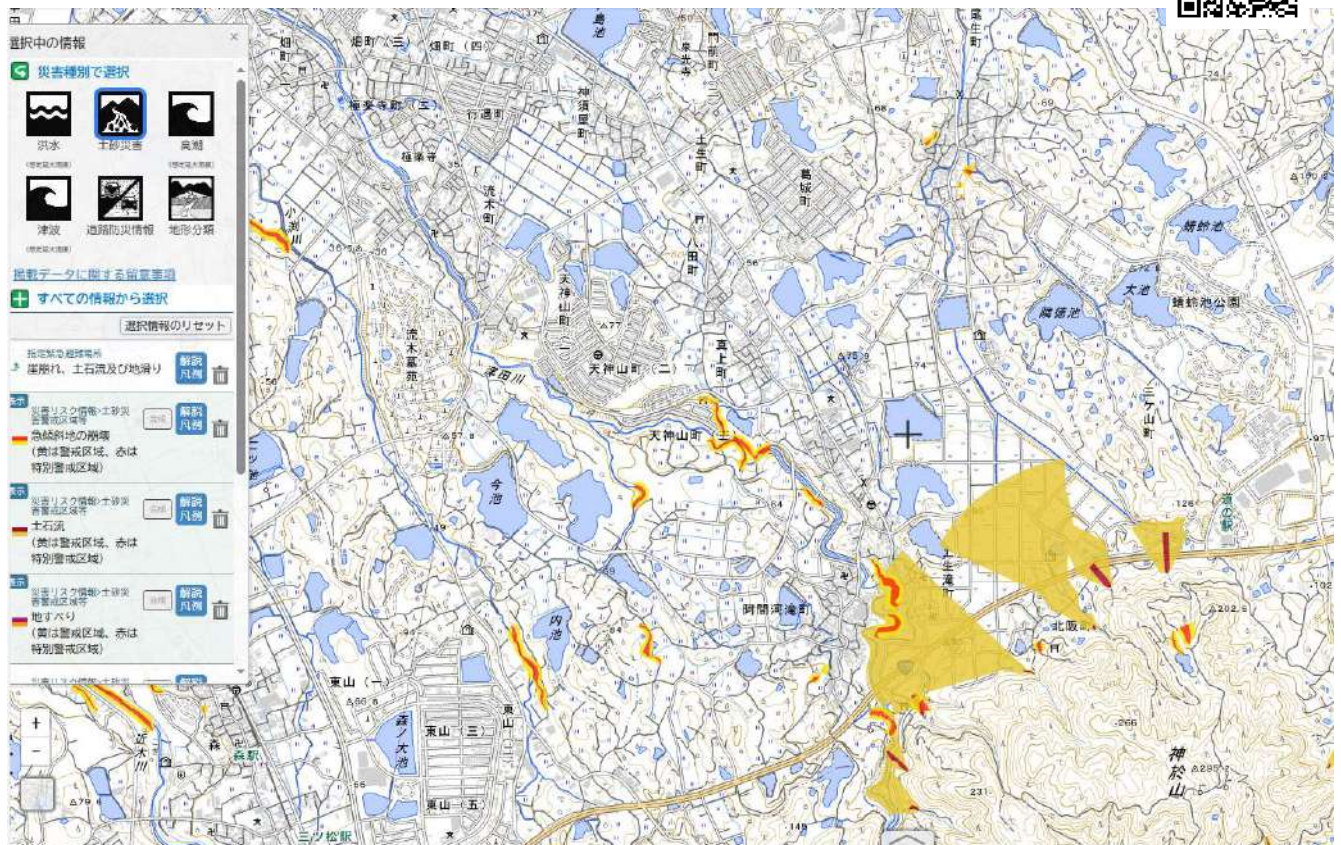
※平成24年 大阪府被害想定より

	上町 断層帯	中央構造線 断層帯	南海トラフ 巨大地震
最大震度	7	6強	6弱

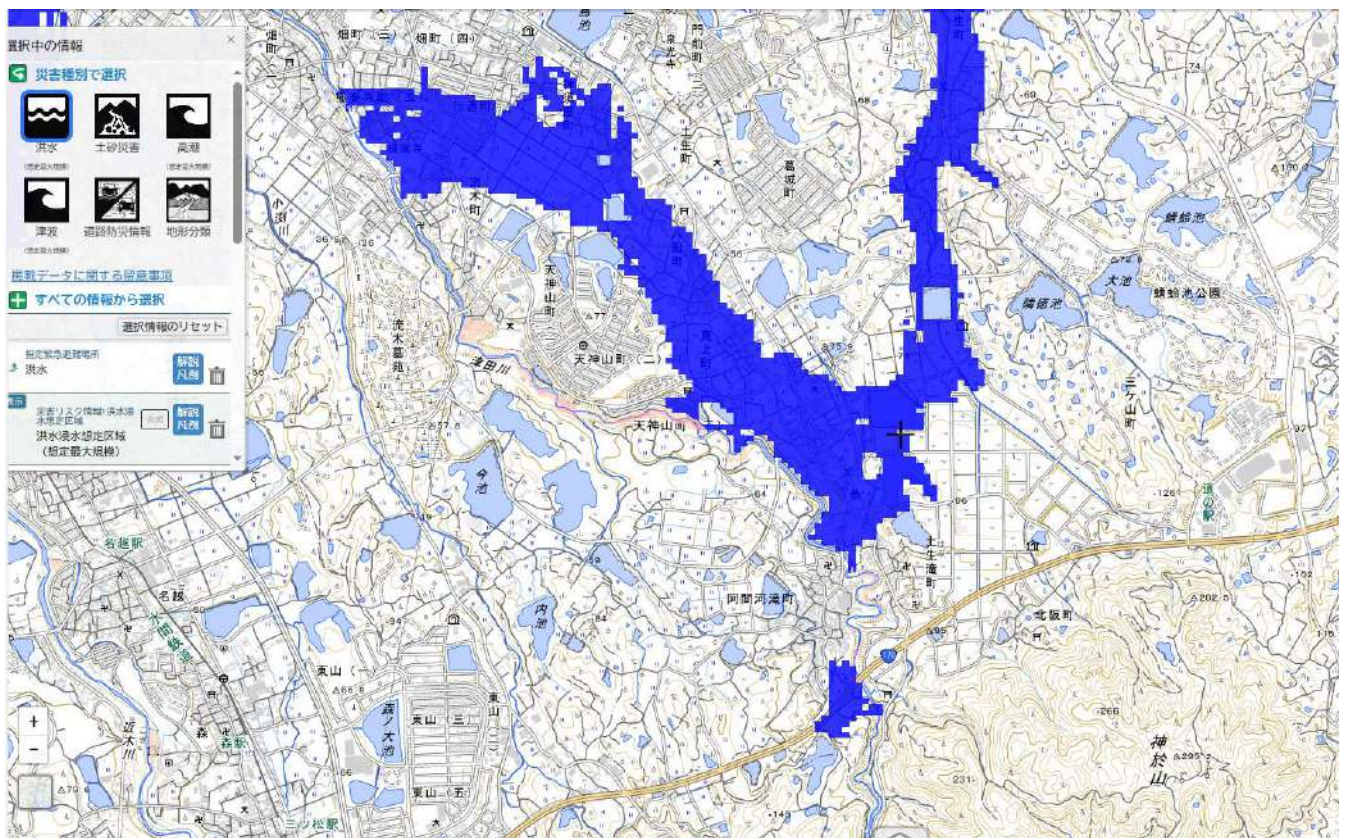


ハザードマップ(土砂災害)

重ねるハザードマップ

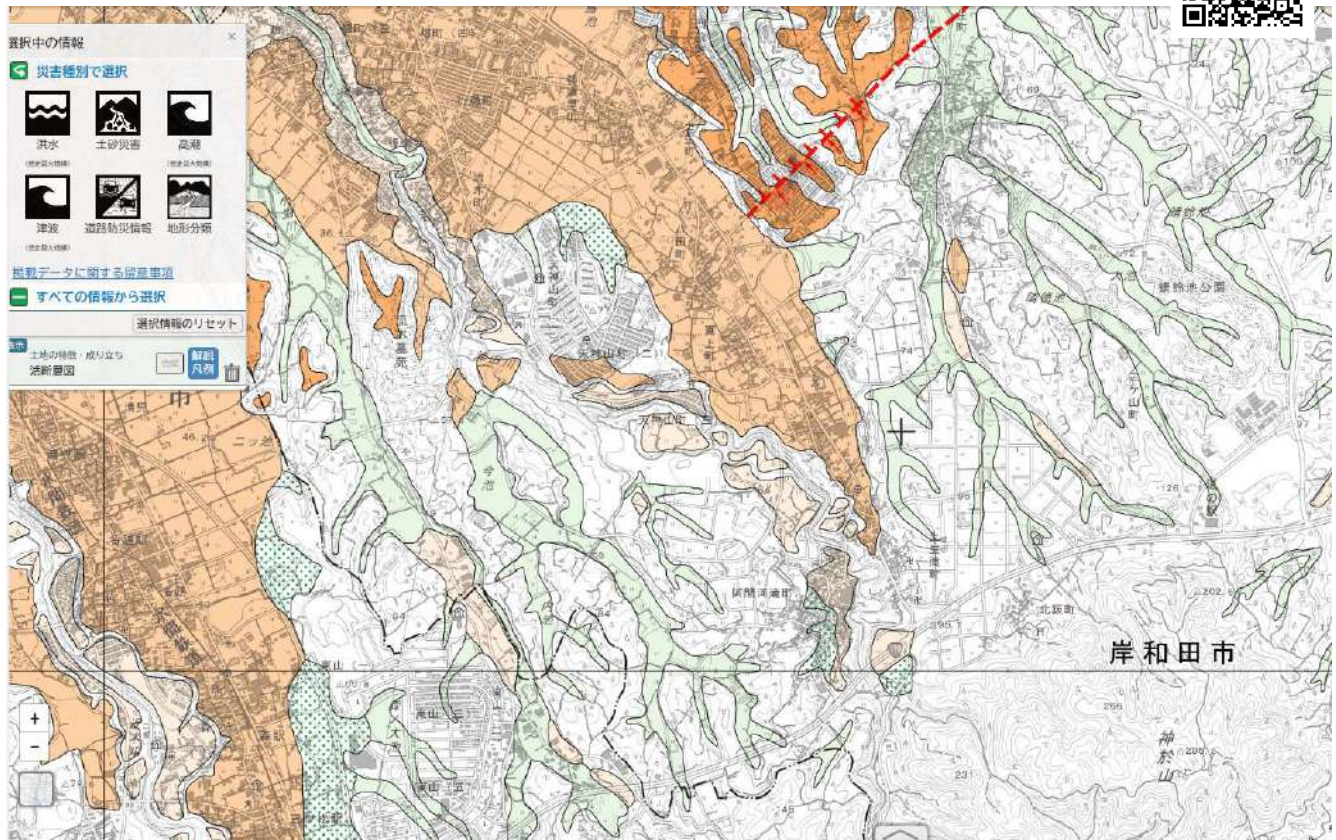


ハザードマップ(洪水、ため池)



ハザードマップ(活断層図)

重ねるハザードマップ



重ねるハザードマップで活断層を確認

6 施設・地域資源

防災関連施設等	内 容		数
	消防施設	防火水槽	11
		消火栓	219
		ホース格納箱	42
	主な公共施設	地区公民館	1
		警察署	1
		郵便局	1
		指定避難所	3
		地域の会館	8
	要配慮者関連施設	こども園等	1
	防災倉庫		2
	備蓄倉庫		1

町会名	施設名称	所在地
神須屋町	神須屋町会館	神須屋町3丁目5-7
	神須屋広場	真上町294
八田町	八田町公民館	八田町230
	八田町多目的広場	八田町231
真上町	真上町公民館	真上町200-6
	真上町ちびっこ広場	真上町203-1
	真上神社	真上町369
葛城町	葛城町会館	葛城町1257-7
土生滝町	土生滝町会館	土生滝町434-5
	青池広場	土生滝町1197-2
阿間河滝町	阿間河滝町会館	阿間河滝町1631-1
	阿間河滝町老人会館	阿間河滝町2208
	阿間河滝町グラウンド	阿間河滝町2217
北阪町	北阪町会館	北阪町192

7 地区内指定避難所

施設名	体育館面積	収容可能数	炊飯能力	電話番号
修斉小学校	567 m ²	340 人	有	427-5913
葛城中学校	1,230m ²	740 人	無	427-5907
有真香会館・ 葛城地区公民館	303 m ²	180 人	無	428-1787

8 緊急交通路

災害時用臨時ヘリポート
有真香公園



Ⅱ 修斉地区の取り組み

1 めざすべき校区の姿

みんなで防災 修斉の輪

2 課題

- ・ 高齢化
- ・ ひとの繋がりが少ない地域もある
- ・ 独居者、高齢者の安否確認の方法が決まっていない
- ・ 防災単位が決まっていない
- ・ 防災意識が低め
- ・ 防災組織が整っていない
- ・ 交通手段の途絶

3 2023～2025年度の取り組み

- ・ 安否確認ができるように防災単位をつくる
- ・ 無事ですマークを使った安否確認訓練
- ・ 情報連携の仕組みの確立
- ・ 災害時要配慮者支援（修斉セイフティネット）
- ・ 防災訓練

令和5年7月16日(日)に有真香会館で防災カルテ作成ワークショップを実施しました。ご参加されたみなさんと一緒に修斉地区に特化した防災の基礎学習をした後、防災の視点で「安心要素」「弱点要素」「課題」について確認し、「今後の取り組み」について話し合いました。

安心要素

- ・各種団体、町民の結束がかたい
- ・だんじり祭り、寺、農を中心としたひとの繋がりがあ
- ・町会の会館、集会所が活用できる
- ・避難所が3つ(修斉小、葛城中、有真香会館)がある

課題

- ・飛び地に対する町会の対応
- ・修斉地区として防災組織の確立
- ・高齢化
- ・担い手の確保
- ・生活道路が狭い地域があるので火災対応

弱点要素

- ・飛び地が多い
- ・新造成地に暮らす人と古くから暮らしている人との交流が少ない
- ・空き家の増加
- ・修斉地区として、住民相互の安否確認、情報連携の仕組みが現在はない
- ・要配慮者の支援が必要(独居高齢者が増加している)
- ・車がないと移動が難しい(地域が広い、坂がある)

今後の取り組み

- ・無事ですマークを使った安否確認訓練
- ・高齢者世帯やとなり近所とのコミュニケーション
- ・防災訓練
- ・情報連携の仕組みの確立
- ・災害時要配慮者支援
- ・炊き出し



防災カルテ作成ワークショップの様子

令和5年11月7日に防災日帰り研修を実施し、兵庫県の「野島断層保存館」に行きました。

語り部さんの被災体験を聞き、貴重な学びを得る機会となりました。隣近所の日頃の付き合いが、もしもの時の命を守る力になった経験や冷蔵庫の中が比較的安全な場所であることから自分の大切な医療情報や緊急連絡先を保管しておく取り組みなど、今後のまちの取り組みに取り入れる参考になりました。



修斉地区は広いため、まち歩きワークショップは、各町会毎に出発することになりました。そのため、リーダー役の方々に集まっていただき、令和5年12月2日(土)まち歩き事前学習会を有真香会館で行い、作業用グッズ、地図の確認など熱心に取り組みました。

令和5年7月16日に実施した防災カルテ作成ワークショップの際に図上で確認した内容を令和6年2月4日に実際に歩いて点検しました。

防災まち歩きは、町ごとにグループを編成して、まちを防災の視点で確認しました。その後に有真香会館で修斉地区全域の情報として地図に落とし込み作業をし、防災マップとして整えました。



修斉地区全体の地図へ落とし込み作業の様子
(町ごとの活動の様子は町会の取り組み頁を参照)

4 具体的な取り組み

まちの防災対策を確認してみましょう。

1 安否確認

- ☐ 隣近所の安否確認方法を決めている
- ☐ すべての世帯に安否確認方法を周知できている
- ☐ 安否確認訓練を定期的に防災訓練で実施している

2 情報連携

- ☐ 隣近所およびまちの情報収集の仕組みを決めている
- ☐ 隣近所やまちの情報伝達の仕組みを決めている
- ☐ 集まった情報を速やかに市役所に伝える防災訓練をしている
- ☐ 市役所から届いた情報をまちの人に伝達する仕組みを決めている
- ☐ 市役所から届いた情報をまちの人に伝達する防災訓練をしている

3 初期消火・防火

- ☐ 火の用心の啓発を行っている
- ☐ 消火栓等の点検を定期的に行っている
- ☐ 消火器の使い方を防災訓練で練習している

4 救出・救護

- ☐ 救出・救護に必要な資機材・人材を確保している
- ☐ 救出・救護体制が整備できている
- ☐ 救出・救護の練習を防災訓練で実施している

5 要配慮者支援

- ☐ 隣近所で要配慮者の把握ができている
- ☐ 地域として専門機関との連携ができている
- ☐ 隣近所で要配慮者支援の仕組みができている

6 避難誘導

- ☐ 要配慮者の方が避難経路(複数)、避難場所を把握している
- ☐ 避難行動要支援者の避難誘導訓練をしている
- ☐ 避難誘導の際に使用する器具の準備をしている
- ☐ 避難誘導の際に使用する器具を使った訓練をしている

7 給食・給水

- ☐ 炊き出し用の備品(なべ、かまなど)を準備している
- ☐ 材料持ち寄りなど、非常時を想定した炊き出し訓練を実施している
- ☐ まちの人に炊き出しのルールを周知している

8 衛生管理

- ☐ 非常時のゴミ出しルールを決めている
- ☐ 非常時の汚物出し、トイレ対策を決めている

9 地域活動

- ☐ 地域の行事（祭りなど）を実施している
- ☐ 地域の福祉活動（ほっとサロンなど）を実施している
- ☐ 防災訓練を実施している

10 地域防災力の継続性

- ☐ 地域の防災に関するマニュアルの整備をしている
- ☐ 担当者が変わるときの引継ぎの仕組みができている
- ☐ 顔の見える関係が築けている
- ☐ 現場対応力が培われるような防災訓練を実施している

Ⅲ 各町会の様子と取り組み

令和5年5月17日(水)に有真香会館で各町会の代表者のみなさんに集まっていただき、地区防災計画作成に向けて、修斉地区の地区概況を重ねるハザードマップで確認しました。その後ヒヤリングを実施し、各町会で取り組みを進めるうえでの課題などのお話をうかがいました。

また、アンケートにお答えいただく形でまちの様子などをお聞かせいただいた内容を各町会ごとにまとめまています。



ヒヤリング会の様子

神須屋町

会員世帯数		137世帯
防災单位名称		隣組：10組
住民の状況	高齢者世帯との交流	町会館でふれあいサロン月1回開催、参加者は平均20人。内容は、筋トレ、茶話会、食事会、花見、駐在所からの防犯講話など、柔軟に運営。
	独居世帯との交流	具体的な事業はないが、日常生活での隣近所のつきあいやゴミ出し時のちょっとした会話などが主な交流。
	子育て世帯との交流	民生・児童委員の赤ちゃん訪問や子ども会活動を通じての交流がある。また、8月の納涼盆踊り大会・地蔵盆踊り大会と10月のだんじり祭りでは、活発な交流がある。
	老人会の活動	会員48人。日帰り旅行、新年会、グランドゴルフなど。
	顔のつながり	だんじり祭りの寄り合い等を通じて顔のつながりは広がっているが参加していない住民との交流を図る取り組みが課題。
	祭りなどの行事	1月：初集会、5月：こどもの日の地車ふれあい会、8月：盆踊り大会、地蔵盆踊り大会、地蔵尊のお勤め、10月：だんじり祭、12月年末夜警
	その他（サロン等）	兼業農家が多く、専業農家も数軒ある。田んぼで交流している風景もよく見る。
まちの状況	生活道路の幅	集落の中の道は狭く曲がっている。道幅は1.5m前後で車は通れない。
	区画整理	農地は神須屋地区23ヘクタールがほぼ場整備されているが、住宅地は区画整理されていない。
	街灯設置状況	町会の防犯灯は、町内で70灯設置しているので、主な生活道路は明るく、暗いところはない。
	防火対策	密集地が多く、防火対策はされていない。道が狭く消防車が入らない。ホース格納箱は3カ所設置。
	その他	防犯カメラ5カ所設置（令和5年度末）。掲示板5カ所。有線放送スピーカー3カ所。月1回「神須屋町会だより」発行、フォトコーナーを設け情報発信に努めている。
自主防災会	ある、なし	ある。修斉「真上・八田・神須屋」地区自主防災会。真上町・八田町・神須屋町の3町で組織し、会長は輪番制。
防災の取り組み		修斉地区は、令和5年度から3か年計画で修斉地区防災計画を策定するため、各町が協力してワークショップやまち歩きに取り組んでいる。町会の取り組みとしては、令和7年度までは地区防災計画を作る過程で町民の防災意識の向上を図るとともに、令和8年度からは、地区防災計画に基づき、防災倉庫の整備や防災訓練等に取り組んでいきたい。



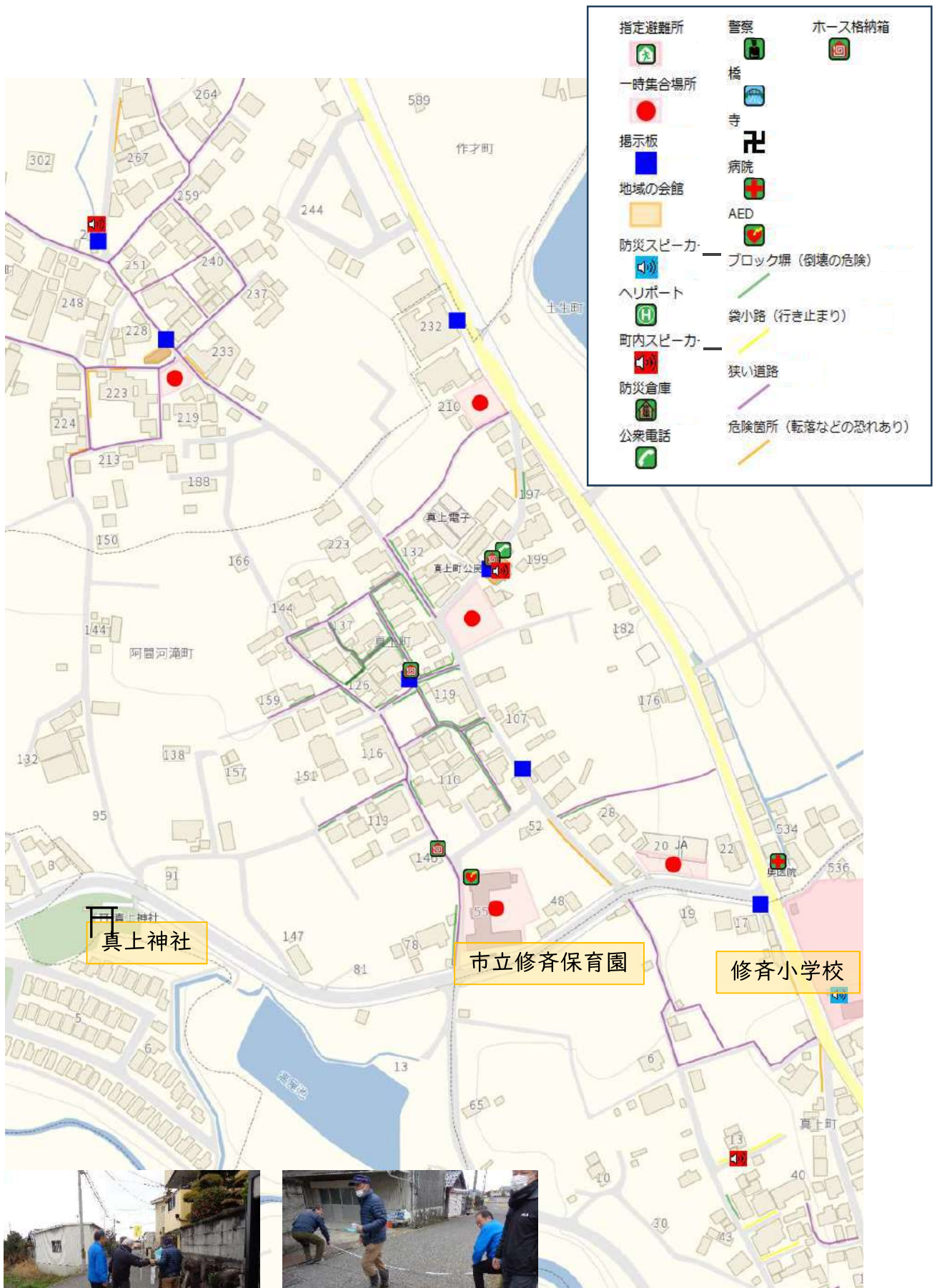
防災まち歩きの様子

八田町

会員世帯数		91世帯
防災单位名称		組:6組
住民の状況	高齢者世帯との交流	年末、民生委員、老人会、子ども会で訪問
	独居世帯との交流	年末、民生委員、老人会、子ども会で訪問
	子育て世帯との交流	子ども会が老人会ふれあいサロンに参加(令和5年度)
	老人会の活動	ふれあいサロン
	顔のつながり	世帯数が少ないので、顔の見える関係が築けている
	祭りなどの行事	だんじり祭りには近年地元住民の参加が減少
	その他(サロン等)	
まちの状況	生活道路の幅	中心の主道路以外は狭い道路が多い
	区画整理	特になし
	街灯設置状況	数年前に各箇所に設置
	防火対策	青年団による年末夜警を実施
	その他	近くに新しい住宅ができて抜け道で交通量が増えた。
自主防災会	ある、なし	ある。修斉「真上・八田・神須屋」地区自主防災会。真上町・八田町・神須屋町の3町で組織し、会長は輪番制。
防災の取り組み		防災用具の備蓄の検討中

真上町

会員世帯数		59世帯
防災单位名称		組:3組
住民の状況	高齢者世帯との交流	65歳以上がおられる世帯が59世帯中51世帯。市民協福祉活動(安否訪問確認)、祭礼での交流あり。
	独居世帯との交流	隣近所でのお声がけでの交流が中心。
	子育て世帯との交流	子ども数がかかなり少なく、民生委員と子ども会中心での交流しかないが、地蔵盆や祭礼での交流は盛ん。
	老人会の活動	毎月第2水曜日に真上神社にて筋トレを実施。
	顔のつながり	町民193人の小さなまちで全員が顔見知り。また農村地帯のため野菜や果物等のやり取りを通じて家同士のつながりも濃いと思われる。
	祭りなどの行事	11町祭礼、修斉地区7町での市民協活動、氏神社である真上八大竜王神社での例祭式や年末元旦行事等あり。
	その他(サロン等)	水利行事、2年に1回の町内旅行あり。茶話会はコロナ禍以降活動中止。
まちの状況	生活道路の幅	塔岸線の他、町内で車のすれ違いができる道路は整備されている。脇道でも原付が通れる整備された道もある。
	区画整理	比較的区画整理されており、入り組んだ場所はそれほどない。
	街灯設置状況	ほぼ設置されているが、一部暗い箇所もある。
	防火対策	一部密集地はあるが、農業用水路がかかなり通っており、また比較的広い家が多く類焼もほばないと思われる。
	その他	近年、空き巣や賽銭泥棒が増えている中、古い家の戸締り等危機意識が少し薄い。
自主防災会	ある、なし	ある。修斉「真上・八田・神須屋」地区自主防災会。真上町・八田町・神須屋町の3町で組織し、会長は輪番制。
防災の取り組み		修斉地区7町での防災取り組みとしてワークショップで地区防災計画づくりに向け進行中。過去マニュアル作成し、修斉小学校への避難訓練を実施した経験はあるが、それから数10年たち改めていろいろな災害に対応する取組をしていく必要があることを、淡路神戸震災体験研修に参加してよくわかった。



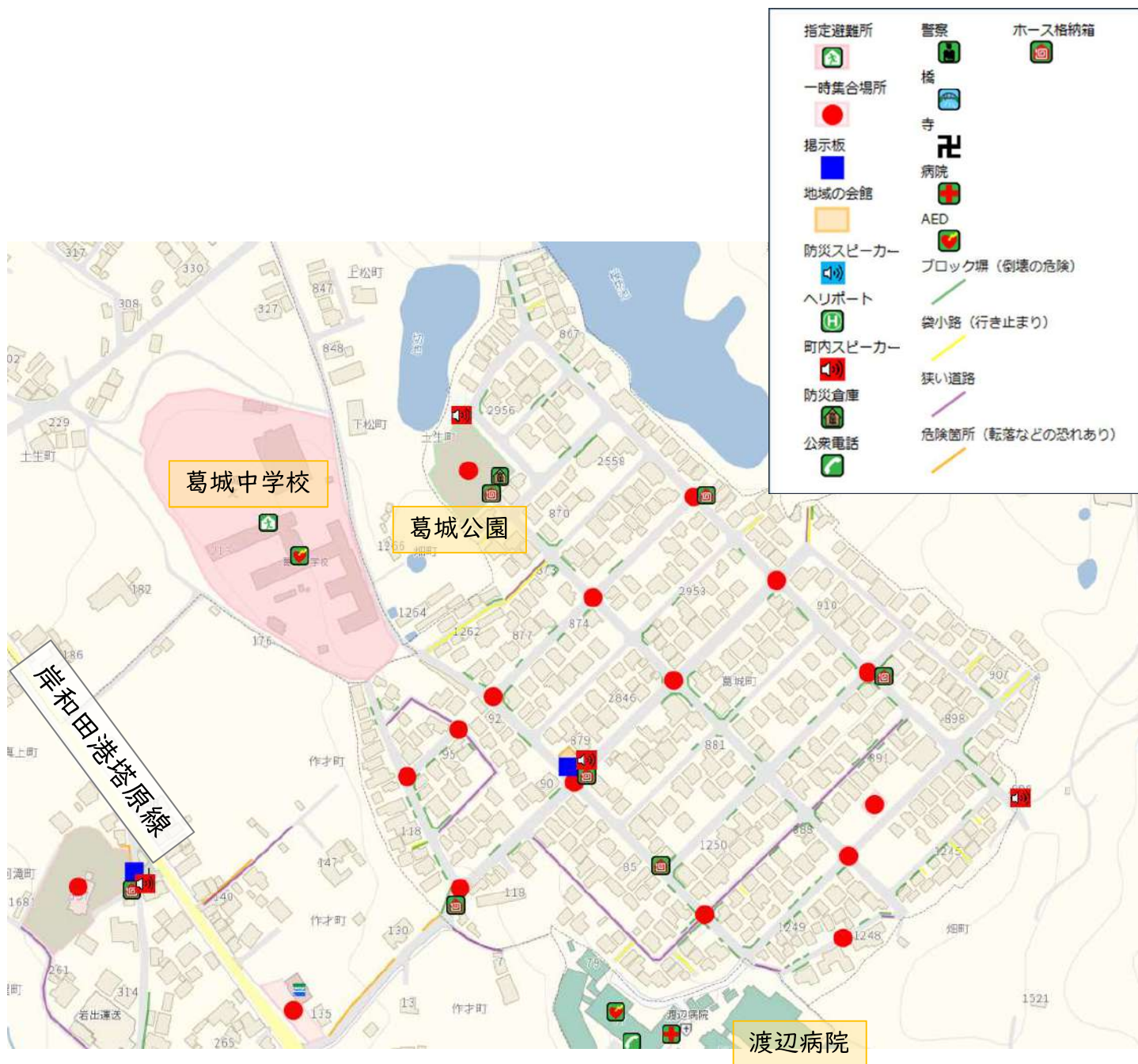
防災まち歩きの様子



防災まち歩きの様子

葛城町

会員世帯数		408世帯
防災单位名称		5分会29区
住民の状況	高齢者世帯との交流	福祉推進委員会及び民生委員により催しや訪問。
	独居世帯との交流	福祉推進委員会及び民生委員により催しや訪問。
	子育て世帯との交流	子育てサロン(月1回)
	老人会の活動	旅行、誕生会、卓球など
	顔のつながり	回覧板をまわす、町会費の徴収、町会清掃など
	祭りなどの行事	地藏盆、町会懇親旅行など
	その他(サロン等)	ふれあいサロンなど
まちの状況	生活道路の幅	4~8m
	区画整理	まちびらき以来完了している
	街灯設置状況	良好
	防火対策	消火設備等の点検(4カ月に1回)
	その他	町会広報「かつらぎ」の年2回発行など
自主防災会	ある、なし	ある
防災の取り組み		消火栓操作訓練(月1回)、消防署から講師を招いて講習会実施(年1回)



防災まち歩きの様子

葛城町会館

阿間河滝町

会員世帯数		220世帯
防災单位名称		7班14組
住民の状況	高齢者世帯との交流	民生委員、福祉委員による訪問。回数不定
	独居世帯との交流	民生委員、福祉委員による訪問。回数不定
	子育て世帯との交流	特になし
	老人会の活動	総会（年1回）、クオリティ交流（月1回）
	顔のつながり	比較的つながっている。
	祭りなどの行事	行なわれているが参加者は減少傾向。
	その他（サロン等）	町会館で福祉委員会がコーヒーサロン（月2回）を実施。
まちの状況	生活道路の幅	狭い道が多い。
	区画整理	進んでいない
	街灯設置状況	行き渡っている。
	防火対策	消火栓、消火ホース等設置。
	その他	
自主防災会	ある、なし	ある
防災の取り組み		まちのほぼ中央に町会館を建設。防災拠点としての機能を一時的ではあるが持たせている。



防災まち歩きの様子



地車庫

土生滝町

会員世帯数		206世帯
防災单位名称		隣組12組
住民の状況	高齢者世帯との交流	月1回のホットサロン手作りお菓子とコーヒーを飲みながら談笑・歓談。時間のある時は手足のストレッチ、脳トレ。各月ごとに手品、二胡の演奏、フラワーアレンジなどの企画を実施。
	独居世帯との交流	民生児童委員や福祉委員が独居世帯訪問。隣組で回覧を回したり、町会費の徴収などで声掛け。
	子育て世帯との交流	児童盆踊り主催、だんじり祭り。月見行事で各家庭訪問
	老人会の活動	親睦会、墓清掃活動、子ども見守り活動、グランドゴルフ
	顔のつながり	隣組の会合、親睦会。月1回の運営会議(町役員・各種団体長・隣組長が集まる)
	祭りなどの行事	4月避難訓練と消火栓の確認。8月盆踊り、地蔵盆踊り。10月だんじり祭り
	その他(サロン等)	農作業しながら田んぼや畑で交流
まちの状況	生活道路の幅	府道39号以外は道幅が狭く車1台が通るのがやっとなである。家の前はさらに狭いところがある。
	区画整理	農地は一部を除き区画整理されている。住宅地は整理されていない。
	街灯設置状況	町内の防犯灯は電柱一本飛ばしにつけられているが、明るさは十分とは言えない。
	防火対策	ホース格納設備(11か所)年1回設備点検
	その他	防犯カメラ6か所設置。掲示板11か所。有線放送設備あり。月1回土生滝だより発行
自主防災会	ある、なし	ある
防災の取り組み		年1回避難訓練の実施



北阪町

会員世帯数		23世帯
防災单位名称		1組織(班など無し)
住民の状況	高齢者世帯との交流	日常的に親戚、近所で交流している
	独居世帯との交流	日常的に親戚、近所で交流している
	子育て世帯との交流	町内で中学3年生がひとりだけなので、特になし。
	老人会の活動	福祉委員会と連携して体操等を実施(年9回程度)。
	顔のつながり	100%
	祭りなどの行事	北阪八幡宮(正月祭、とんど焼、10月大祭)、北阪八幡宮清掃(毎月)、6月・9月町内清掃。
	その他(サロン等)	福祉委員会と老人会でサロンを実施。
まちの状況	生活道路の幅	町内住宅地は、ほとんど狭い道路。
	区画整理	住宅地は区画整理なし。農地は神於山土地改良区域内は実施済み。
	街灯設置状況	13カ所設置。(町内は暗いと言われる)
	防火対策	町会館に消火器設置。消防格納箱3カ所設置。
	その他	土石流危険区域に住宅がある。高齢化による人口減少。神於山の竹林化。
自主防災会	ある、なし	ある
防災の取り組み		消火訓練等実施(年1回)。神於山園との地震発生時の協力体制。安否確認は町会を4つに分けて行う。大雨時:町会館、地震時:神於山園、有真香会館に避難する。



一時集合場所は
現時点（2024年3月）での候補地です。



防災まち歩きの様子

この修斉地区防災カルテは、まちづくり初動期
活動サポート助成（（公財）大阪府都市整備推
進センター）を受け作成しました。